

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



第222号



2021年(令和3年)5月発行
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

もやいとは、人と人をつなぎ付けること(共働・共助)

横浜観光スポット

赤レンガ倉庫

栞田 明人



新年度を迎えて



シルバー人材センター・
生きがい就労センター長

青木 明彦

会員の皆様には、日ごろからシルバー人材センター及び生きがい就労センター事業にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、昨年度は、全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、マスクの着用や三密の回避など生活様式が大きく様変わりし、また、会員の皆様の就業の機会も大幅に縮小されるなど、これまでの日常とは大きく変わってしまいました。ワクチン接種が開始され明るい兆しも見え始めてはいませんが、まだまだ感染防止対策を続けていかなければならない状況です。早くこの状況から抜け出し、これまでの日常に戻れることを切に願っています。そのためにも、引き続き感染防止対策の徹底をお願いいたします。

「いつまでも 働く喜び 無事故から」これは全国のシルバー人材センター統一の安全就業スローガンです。令和二年十二月末現在、全国における死亡等の重篤事故は二八件、前年度同期に比べ三件増加しています。

「安全はすべてに優先する」「安全なくして就業なし」を合言葉に、「自分の安全は、自分で守る」という意識啓発が何より重要です。事故は「自分には関係ない」「自分は大丈夫」と思われている方も多くいらつしやるはずですが、自分を過信することなく、事故は誰にでも起こりうることを考え、細心の注意を払い、事故に遭うことがないようにしていただきたいと思えます。今年度も安全就業に向けた現場巡回パトロールや交通安全教室等を開催し意識啓発を図っていききたいと考えております。会員の皆さんの生きがいの充実、そして元気に社会参加する支援を今後ともさらに推進してまいりたいと考えておりますので、会員の皆様にはより一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年度事業計画

●シルバー人材センター事業

1 雇用によらない臨時的就業者の就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供。高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、地域社会の健全な発展に寄与するため、高齢者にふさわしい仕事を、地方公共団体、民間企業、個人等から受託し、能力、希望等に応じて請負又は委任により提供します。

就業機会の提供にあたっては、地域から発注された仕事の情報を広く高齢者に周知し、公平な就業機会が得られるよう、グループ就業やローテーション就業などを進め、より多くの会員が就業できる取組みを推進します。

□主な事業

施設清掃・管理、駅前自転車の整理、駐車場及び駐輪場管理、公民館等施設管理、公園清掃・管理等、除草・清掃、植木剪定、草刈、事務補助、屋内外の清掃、屋内軽作業等、障子・襖張替え等

2 雇用による臨時的就業者の就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供を行います。

□主な事業

①職業紹介事業

高齢者の就業に関して、シルバー人材センターが紹介者となり、求人及び求職の申込みを受け、求人者と求職者との間における雇用関係の成立を斡旋する事業

②労働者派遣事業

派遣元事業主である公益社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会との連携のもと、派遣先の指揮命令を受けて労働に従事させる事業

3 就業に必要な知識及び技能を付



シルバー人材センター事業

与するための講習を開催します。

就業に必要な技能、知識を就業意欲のある高齢者に付与し、より広い就業分野での仕事の確保と提供を行います。

□主な事業

スキルアップ講習、接遇研修、高齢者セミナー

4 事業を推進するための諸活動並びに社会参加活動を推進するための諸活動を行います。

□主な事業

普及啓発事業、安全・適正就業の推進事業、シルバー人材センター運営委員会の運営、調査研究事業、就業分野の開拓・拡大事業、世代間交流事業、相談事業、社会参加推進事業、会員表彰

●生きがい就労センター事業

1 心身障がい者等に適した仕事を地方公共団体、民間企業、個人等から受託し、能力、希望等に応じて請負又は委任により提供するとともに、就業機会の拡大に向け、展示販売品の自主製作を行います。

□主な事業

①請負又は委任による事業

部品の組み立て、配布物の封入・封緘、箱詰め、洋裁、筆耕等の軽作業

②自主製作事業

デコパージュ石鹸やエプロン等を自主製作し、公民館まつり等の各種イベントにおいて展示及び販売を行う。

2 就業分野の拡大並びに社会参加を推進する事業を行います。

□主な事業

普及啓発事業、安全・適正就業の推進事業、調査研究事業、就業分野の開拓・拡大事業、相談事業、技能研修等、社会参加推進事業、公益目的事業の活動拠点の管理運営、会員表彰



生きがい就労センター事業

健康講座

日本人が行ってきた、 感染症の対処について



藤沢市保健医療センター
副所長 健康相談医
姫野 秀朗 先生

ヒトの移動で広がるウイルス感染症 と歴史への影響

この原稿を書いている3月現在、変異ウイルスの拡大により新型コロナウイルス感染症収束の目途がついていません。約2500年前に麻疹ウイルスが、ウシあるいはイヌから人類社会に定着したとされています。

感染はヒトの移動により広がります。現在は航空機により短時間でヒトが移動でき、感染症はあつという間に世界中に広がります。インカ帝国やアステカ帝国が滅んだ要因は、あまり知られていませんがスペイン人が持ち込んだウイルスによるものでした。幕末の攘夷思想の背景には、安政5年(1858年)のペリー艦隊が持ち

込んだコレラと文久2年(1862年)の宮中にまで広がった麻疹の流行があり、「西洋〓病原菌」という考えがあったようです。今回「集団免疫」が話題になりましたが、1846年のデンマーク領フェロー諸島で猛威を振った麻疹について、デンマーク人医師により詳細に調査がなされ7800人の島民のうち1700人は未感染のまままで感染が終息したことが報告されました。

3月末日現在、日本の感染者数約47万人、死者数約9千人と、死亡率は日米ともに1.8%と変わりませんが、欧米諸国に比べて感染者数は二けたも低く、そこには何かしらの要因が考えられています。

近代までの日本の感染症に対する 対処

崇神天皇(西暦300〜350年頃)の御代以降、天然痘と麻疹が繰り返し流行しました。崇神天皇は伊勢祭祀の原点となることを始め、聖武天皇は奈良東大寺を建立し、京都祇園祭は疫病封じとして始まりました。また各戸では疫病除けとして張り紙などを使いま

した。神社にお参りする時には、楔ぎ(手洗い)・清め・祓いを行います。私たちが普段から手洗いやうがいには抵抗感を持たずにしている理由と思われる。

江戸時代には13回も麻疹の流行がありました。江戸時代の平均寿命40歳と麻疹が終生免疫であることを考えると、約20年に1回と納得できる流行回数になります。感染防止目的は、天皇や将軍をして殿様に感染さないことでした。

で、天皇への朝見はなく、江戸時代では登城を「自粛」「遠慮」といいます。させました。感染した領民に対しては、城下から遠く離れた特定の村を「痘瘡退村」として、隔離政策を実施していた藩がありました。感染していない人々に対して、給付金や給付米が配られても

いました。旅籠の休業(自粛)のほか湯屋(銭湯)は時短営業を行いました。麻疹の流行時は、「葛根湯や麻黄湯を、その後は柴桂湯や小柴胡湯しょうさいことうを用いたと複数の医者が記録していますが、漢方薬は自然免疫を増強させる効果があります。また、公権力は医薬品を配布し、認められませんでした。1800

年初めには隔離を訴えた医師がいました。玄関で外と内を区別する生活習慣ができあがったことも大きな要因と考えられます。

また幕末の緒方洪庵は、コレラ流行時には「事に臨んで賤丈夫せんじょうぢうとなるなかれ」と弟子を鼓舞し、中には死者も出ています。

近代以降の政府の対応

大正以降の政府は、後手と批判される対応が目立ちます。特に、1918年5月に始まるスペイン風邪では、ロサンゼルス市駐在領事が、ロサンゼルス市の芝居・見世物・学校などの公会を禁じる措置を執ったことを同年10月に外務省宛に知らせていますが、内務省が対応を執ったのは1920年1月でした。国内で3波あったスペイン風邪では、死者45万人と推定され、特に第2波では全人口の約40%が感染し、1000人当たり12人の死者が出ています。与謝野晶子は、1918年11月に「感冒の床から」で何ら対応策をとらない政府を「日本人の便宜主義」として批判しています。今回も、台湾やニュージーランドの対応が評

働されましたが、政府は先人の知恵を活かせないようです。

日本の感染症対策で忘れてはならない人たち

1人目は、ケネディ米国大統領が尊敬する日本人としてあげた米沢藩主上杉鷹山（治憲）です。鷹山は、自らは「隔離政策」を採らず「登庁許可」を出し、広がる感染に対して次から次へと患者支援策を実行し、新年の祝賀を取りやめ、江戸から医者も呼び寄せて感染対策の指揮を執らせています。感染者8389人死者2064人という具体的な数字を記録として残し、「藩主よりも領民のほうが大事」という意識を持ったリーダーと考えられています。

2人目は、明治時代の後藤新平です。「伝染病の危険の恐るべきこと弾丸よりも大なるものがある」と考え、臨時陸軍検疫部事務官長として1895年日清戦争帰還兵に対する検疫業務施設を広島宇品港似島など3か所に作りまし

た（水際対策）。艦船687隻、23万2346人将兵の検疫を実行し、369人のコレラ患者を隔離し国内への広がりを防ぎました。その時の上司が江の島で祀られている児玉源太郎です。児玉は非難の封書を手元にとどめ、検疫を遂行させ、「之は貴君の月桂冠なり」と後に渡しました。後藤新平は、「寝覚めよき事こそなさま、世の人の、良しと悪しとは言うに任せて」と詠んでいます。

歴史から学ぶ今の私たちにできる対処

外から入ってきてしまった感染症には、個人で出来ることは「かからない移さない」ことだけです。飛沫感染なので外出時には、マスクを着け、帰宅したら手洗い・うがいをおこなわずに行うことです。新型コロナウイルスは、ACE2というヒトの細胞膜上のレセプターに付いて感染しますが、重症化しやすい高血圧症・糖尿病や喫煙者は（実は高齢者も当てはまる）この受容体が多いことから、特に不特定多数との密集・密接を避けることです。地元経済を考えると、十分な換気が行われている所で食事を摂り、できれば風上がお勧めです。免疫を意識した食事内容に

し、夜更かして免疫力を落とさないこと、具合が悪くなると予感があった時には前述した漢方薬を使用してみることも推奨されます。残念ながら日本の政府・行政を当てにできないような気がします。参考文献の一読をお勧めします。

〔参考文献〕

磯田道史 感染症の日本史 文春新書

山本太郎 感染症と文明―共生への道 岩波新書

障がい者部門から

障がい者部門ではコロナ禍により、社会見学を兼ねた企業訪問や農作業体験などのイベントが中止となっていました。

このような状況の中で、少しでも会員の皆さんを笑顔にし、楽しい出にしてみたいと、地域で活躍されている「駄菓子屋ROCK」さんと「バルーンパフォーマーなかやまちち」さんをお招きし、催し物をしていただき

ました。

バルーンパフォーマーの「なかやまちち」さんの風船を使ったパ



風船であつという間にいろいろなものを作ってくれました



楽しいヒーローショー（皆さん盛り上がりました）

ルーニアートは、カラフルな風船を巧みに使い、あつという間にいろいろな作品を作ってくれました。

また、「駄菓子屋ROCK」さんのヒーローショーでは職員が参加をし、皆思わずビックリ!!かたずをのんで見入っていました。

皆で歌を唄ったりして、会員の皆さんも笑顔で元気になれたひとときを過ごすことができました。コロナ禍が早く終息して、皆さんで笑いあえる日々に戻れるといいですね。

また、技能講習も開催されました。今回は、「ゼリーキャンドル」作りに挑戦しました。材料は、小さな瓶、ゼリーキャンドル(ろう)、白・ブルー・紫などのカラーサンド、貝殻など。

まず、キャンドル用のゼリーをお湯で溶かしておきます。次に、キャンドルの芯を割りばしで挟んで瓶の中心になるようにセットし、好きな色の砂、貝殻、花びらなどを入れます。ここに溶かしておいたゼリーを流し入れ、さらに金、銀、白などのラメを表面に振りかけます。ここに違う色のゼリーをさら



ゼリーキャンドル

に流し入れ、色の付いた細かい貝殻を振りかけ、ゼリーが固まったら作品が出来上がりました。

会員の皆さんの思い思いの素晴らしい作品が出来上がり、うれしそうに自分の作品を見つめています。楽しい技能講習会でした。



公益財団法人藤沢市まちづくり協会 シルバー人材センター・生きがい就労センター

令和3年度 事務局の執行体制

センター長 青木 明彦

【総務担当】

予算・決算事務、請負金請求・収納事務、配分金支払い事務等

上級主査 山口 みさ

主事 石崎 彩香

臨時職員 藤巻 澄江・長谷 美幸

シルバー人材センター

センター長補佐 石井 哲也

【公共担当】

公園管理、駅前自転車等整理業務、公民館等の施設管理、施設の清掃、駐車場、駐輪場、大庭台墓園等

上級主査 山下 隆治

主事 谷澤 義人

非常勤嘱託 杉山 哲己・前田 弁榮

宮武 重信・小川 昌

稲垣 一彦

【企業担当】

民間企業等からの受託事務全般、労働者派遣事業、ハローワークとの調整等、就業相談会の開催

主事 森 大二郎

常勤嘱託 柿崎貴美子・信田 英雄

【個人担当】

個人からの受託事業全般(除草・清掃・植木・草刈)、空き家対策事業等、入会説明会の開催

上級主査 渥美 比呂子

常勤嘱託 宮路 修武

非常勤嘱託 若生 直子

臨時職員 真田 理恵・田丸 康子

【分室】

藤沢市北部地域における受託業務全般、入会説明会の開催

分室長(兼) 石井 哲也

副分室長 田代 富二夫

主査 宮村 直樹

非常勤嘱託 広瀬 稔

臨時職員 二見さおり・八木 慶子

飯田 修一

【自転車等駐車場管理事務所】

藤沢市内の市営有料自転車等駐車場業務全般

所長 宮崎 充

副所長 遠藤 主計

上級主査 田中 崇之

主査 川畑 顕二

主任 辻川 貴行

非常勤嘱託 小野 清・石倉 隆広

生きがい就労センター

センター長補佐

(シルバー人材センター兼務)

田中 雄一

障がい者等会員における、地方公共団体、民間企業、個人等からの受託事務全般、会員対応等

【障がい者担当】

主査 栗城 武

常勤嘱託 高木 鮎子

非常勤嘱託 標 由次

上級主査 山口 直美

【女性担当】

会員の活動紹介

史跡歩き同好会

村岡地区散策

山本 伸哉

今回は、藤沢市村岡地区方面の「史跡歩こう会」になりました。村岡地区は、昔は鎌倉郡村岡村だったそうです。元は鎌倉時代に玉縄城があり、その城を支える為に出来たのが村岡城だったとの事（今は村岡城跡公園になっている）。その地区にある天嶽院を最初に訪れました。この寺は真言宗の古寺「不動院」からはじまり一四九五年（明応4年）に創建されました。山門は、江戸中期水戸光圀公が創建したと伝えられています。

次に訪ねたのは「慈眼寺」。この寺の境内には樹齢三百年の樹がありますが、何本かの木が寄りそって一本の樹になり成長している樹が二本あり圧巻でした。

その後、本在寺公園展望台に

登り昼食。その地も、今も現存されておられる福原家が徳川家康を案内されたと伝えられている展望台です。

天気が良いければ中央に富士山、右手に丹沢連峰、左手は江の島、片瀬山、鎌倉山が見渡せます。少し曇りの天気でしたが、良い「歩き会」になりました。

史跡歩き同好会 募集と連絡先
電話 2315632 山本伸哉



川柳・五行歌通信

若林 琢磨

俳人柳人の多くは、ペンネームを使っています。あの有名な松尾芭蕉も本名は松尾忠右衛門宗房と云います。幼名は金作。俳人は俳号、柳人は雅号と称し、私達も雅号を使う事にしました。（新之助・太郎・裕助等）次号は私も大好きな一人、松尾芭蕉の「おくのほそ道」を皆様と（紙面上ですが）歩いてみたいと思います。遊々と。

先日、通りすがりにシルバー人材センター会員の方に『いつも楽しく川柳、五行歌やコラム欄を読んでもますよ』と声をかけていただきました。ありがとうございます。うれしさいっぱいです。

なお、当同好会にご参加の方は、左記の森本、若林までご連絡ください



川柳同好会

句題 『新茶』

新芽吹く八十八夜湯呑みニケ
故郷から心に響く茶摘唄
歳時記の新茶王道走ってる
老夫婦新茶の試飲はしごする
舌おどる静岡新茶足柄茶
恋初めソフトクリーム抹茶入り
味香る新茶が通る喉もとを
茶葉が立つエンギが良いと宝くじ

選者

森本 生雄 4310023
若林 琢磨 8111407

五行歌

花のある庭が
あいさつ今昔
廻り道
むかし
五月晴れ
飯食ったか
生雄
いま
ワクワク打ったか
次郎

次郎

通うこと20年
福社施設閉所
でも季節は移りゆく
春から夏へと
何事もなかった様に
もも子

（皆様からの旅行記等記事を募集中です!!）